



国連WFP協会

国連WFP協会
年次報告書 2024

*Saving Lives.
Changing Lives.*



飢餓から救う。未来を救う。

食料が平和をつくる 礎になると信じて

食料は単なる栄養の源ではありません。
私たちが届ける一食一食が
命をつなぎ、希望を灯し、
紛争のない平和な世界をつくる礎となるのです。

「どんなに困難な時代でも、国連WFPは食料を届けます」

2024年も皆様からのあたたかいご支援とご厚意を賜り、心より御礼申し上げます。
私たちを取り巻く環境は日々変化し、世界は混迷の時代を迎えていました。
紛争や自然災害の影響により、日々の食事すらままならない人びとは、世界人口の11人に1人
にものぼると言われています。パレスチナやウクライナでは依然として多くの人びとが平穏
な暮らしを奪われ、さらにアフリカでは、スーダンで7年ぶりに飢餓が確認されるなど、飢
餓の状況は一層深刻さを増しています。
「すべての人びとに十分な食料が行き渡ってこそ、眞の平和が訪れる」との信念のもと、私た
ちは引き続き支援の輪を広げていく責任があると考えております。
今後とも、変わらぬご支援とあたたかいお気持ちを賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。



特定非営利活動法人
国際連合世界食糧計画
WFP協会会長

安藤 宏基

Contents

Message	01
寄付実績	03
いただいたご寄付の活用事例	07
国連WFP協会の取り組み	11
企業・団体からのご支援について	15
ご寄付をいただいた企業・団体の皆様	20
2024年 決算報告	21
役員一覧／国連WFPを応援する著名人	22

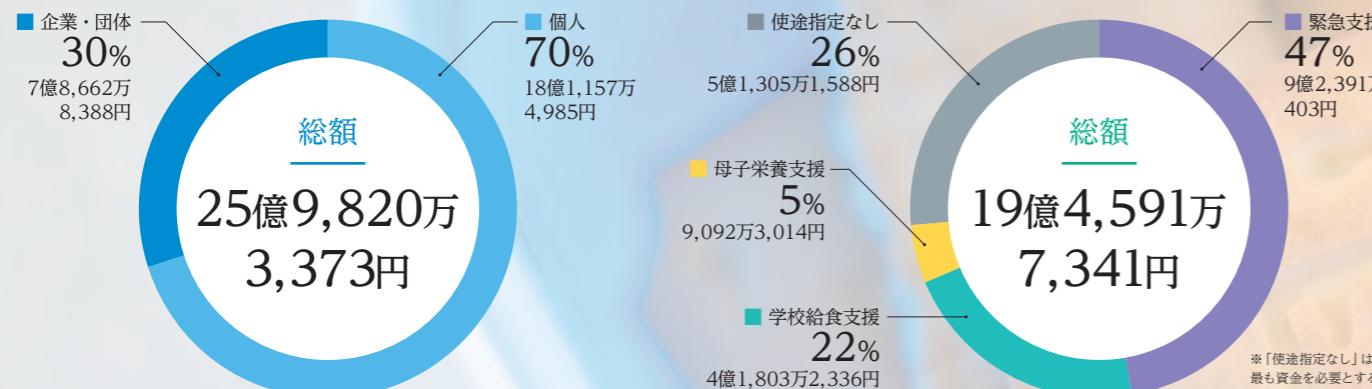
寄付実績

日本の皆様から託された 深い想いを届ける。

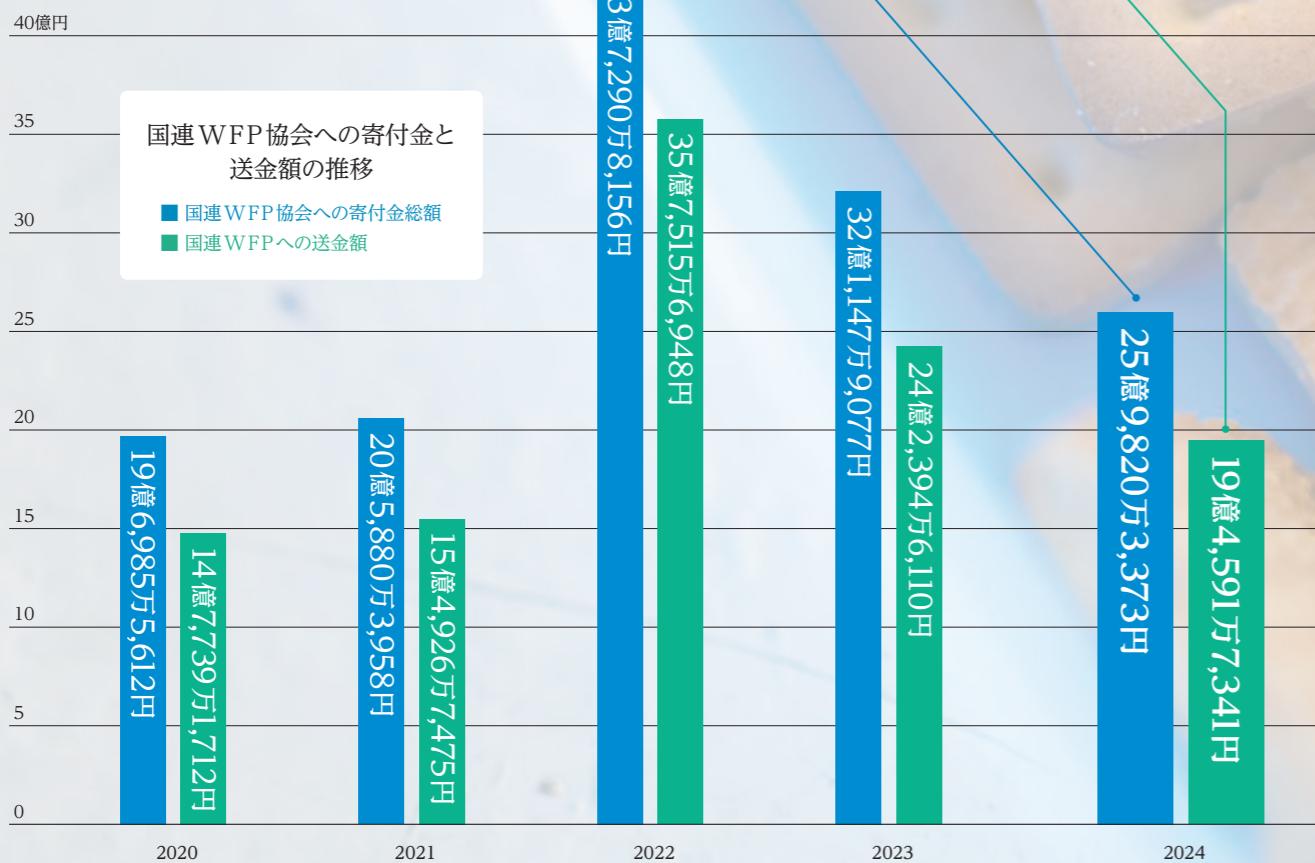


2024年、国連WFP協会に寄せられた企業・団体、個人の皆様からのご寄付は約25.9億円に。このうち国連WFPに送金した寄付額は約19.4億円*で、世界120以上の国と地域の拠点の中でも、緊急性の高い国・地域・プロジェクトや支援者の指定する国と地域を中心に活用させていただきました。

*国連WFP本部との取り決めにより、寄付のうち75%以上は国連WFP本部へ送金しており、残り25%（上限）は国連WFP協会の日本国内での活動および運営管理費などに活用しています。（2024年時点）



国連WFP協会への寄付金総額の内訳



国連WFP協会とは

特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会（国連WFP協会）は、飢餓のない世界を目指して活動する国連唯一の食料支援機関であるWFP国連世界食糧計画（国連WFP）の、日本における民間の公式支援窓口です。1999年に設立され、2005年より「認定NPO法人」に認定されています。

国連WFPの活動は全て、各国の政府の拠出金や、企業・団体、個人などの寄付金でまかなわれており、国連WFP協会は民間を対象とした募金活動や、企業・団体との連携、広報活動を通して国連WFPの活動を支えています。

妻と感じた学校給食支援の意義を、 これからも

約10年前、テレビで国連WFPの学校給食支援の番組を見たのが、支援のきっかけでした。給食を提供することで子どもたちが学校に通えるようになり、学ぶ機会を得られる——「なんて素晴らしいアイデアだ」と、妻と感心しながら話したことを今でも覚えています。教育を受けた子どもたちが成長し、やがて国の未来を支える。そんな支援の循環に共感しました。

昨年、長年連れ添った妻を亡くし、命日に何かできることはないかと考え、国連WFPへの寄付を決めました。これからも毎年、寄付を続けていこうと思っています。妻とともに感じた学校給食支援の意義を、これからも大切にしていきたいです。

（上郡様 70代）

支援者の想い

中高生たちが話し合って決めた 募金活動の支援先

私は教会の中高生会の活動を担当しています。毎年、クリスマスに募金活動を実施しており、支援先については中学生・高校生たちが話し合って決めています。今回は、高校生の一人が学校での学びの中で国連WFPを知り、その活動を皆に紹介したことがきっかけで、寄付することを決めました。飢えに苦しむ子どもたちに必要な支援が届くよう、少しでも力になりたいという中高生たちの想いが届くことを願っています。

（匿名50代、10代）

当たり前が当たり前ではない 現実に直面して

以前から、戦争や紛争、災害に関するニュースを見ていると、飛行機の尾翼に大きく描かれた「WFP」の文字がよく目に留まっていました。「何だろう？」と気になっていたのですが、先日、食料危機をテーマにした特集番組で国連WFPの活動が紹介されているのを見て共感いたしました。これまで「食べられることは当たり前」と思って生きてきましたが、世界でも日本でも、当たり前が当たり前ではない現実に直面し、憤りとも脱力感ともいえる何かを覚え、自分に少しでもできることはないかと思い寄付いたしました。

（匿名50代）



どうか無事に 産まれますように

自分が妊娠し、日々お腹の子どもの無事を願いながら過ごしています。すべての妊婦さんが少しでも安心して出産の日を迎えるようになってほしいと考え、寄付することにしました。

（匿名40代）

寄付送金実績

国連WFP協会は2024年
19億4,591万7,341円の寄付金を送金し
国連WFP本部を通じて世界中の人びとに食料を届けました。

【「確かに届ける」ために】

送金

寄付金は、国連WFP協会を経由して国連WFP本部へ送金されます。

調達

輸送コストを抑えると同時に途上国の農業を振興するために、食料は可能な限り近隣地域から購入します。

輸送

船やトラック、航空機を使用して食料を輸送します。

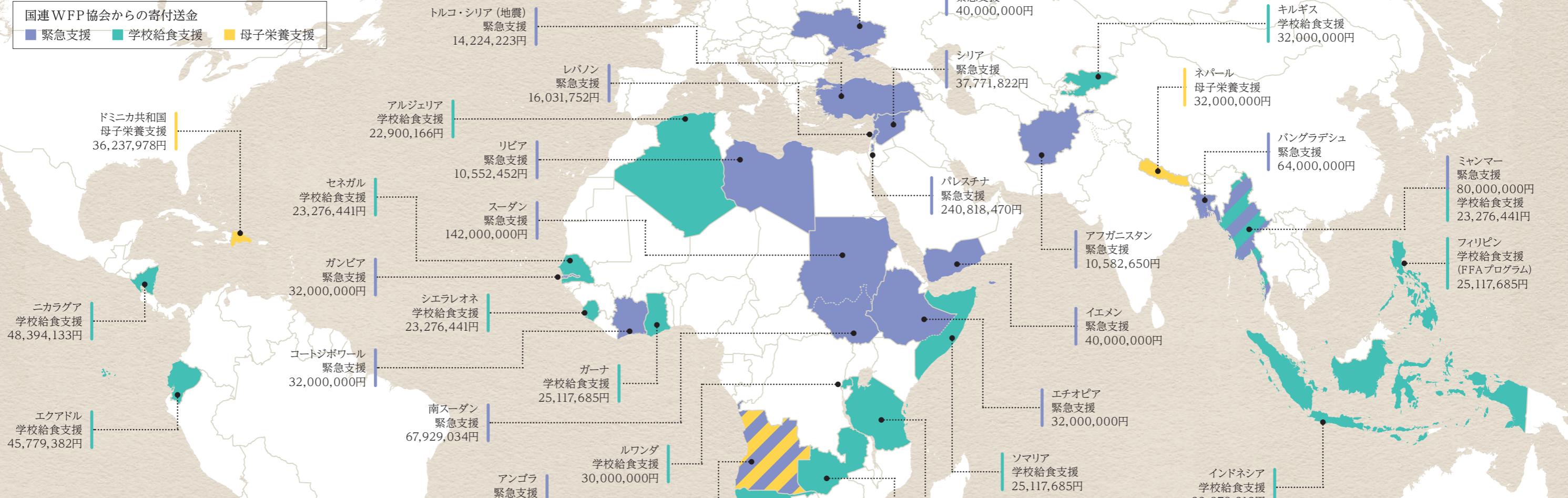
倉庫保管・品質管理

食料が確実に到着し、保管されているかチェックします。倉庫内の品質管理も怠りません。

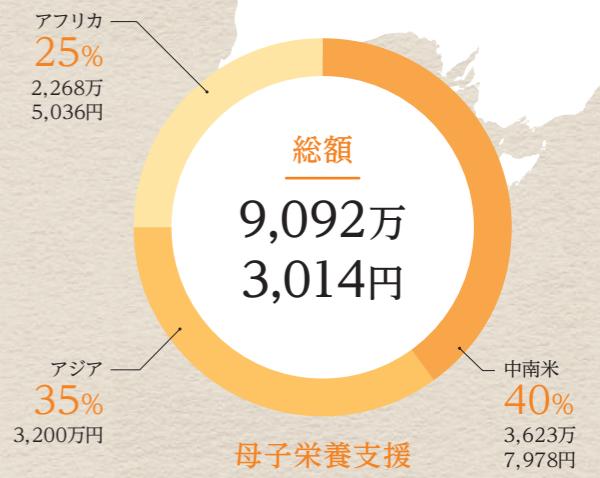
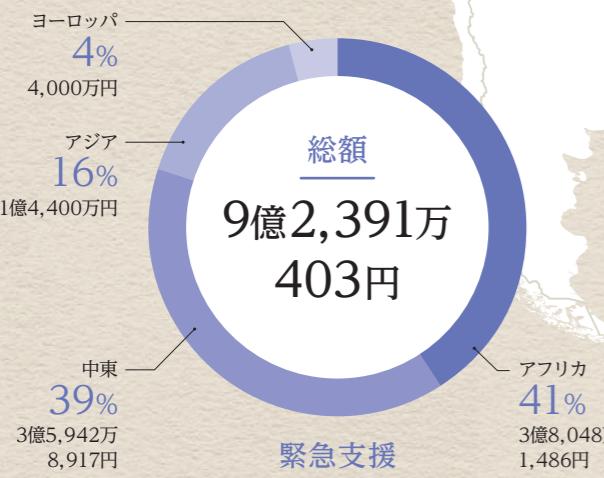
支援を必要とする人びとへ

女性・子どもをはじめ支援を必要とする人びとへ確実に届けています。

国連WFP協会からの寄付送金
■ 緊急支援 ■ 学校給食支援 ■ 母子栄養支援



【国連WFPへの送金額の地域別内訳】



飢餓から救う。 SAVING LIVES

皆様からのご寄付は、紛争や自然災害などの緊急時に、国連WFPが実施する食料支援や輸送・通信支援のために大切に活用させていただいております。

緊急支援

紛争や自然災害が起きた時、いち早く被災した地域に入り、人びとに生き延びるための食料を届けています。

パレスチナにおける活動

厳しい局面が続くガザの人道危機 食料輸送や現金支援で命をつなぐ

ガザ地区では1年以上にわたる戦闘により、安全な食料や水、住居、教育など生存に必要なものが奪われ、人道状況は依然として極めて厳しい局面が続いている。約200万人が家を失い、収入源を断たれ、完全に食料支援に依存しており、30万人以上が壊滅的な飢餓に直面しています。

国連WFPは戦闘開始以降、ガザへの食料輸送や、ヨルダン川西岸で経済悪化の影響を受けた人びとや避難を強いられた家族に現金支援を実施しました。さらに、パン工場の再稼働や生活再建を支援するとともに、子どもや妊娠婦には栄養補助食品を配布しました。

これらの活動の一部は、日本の皆様からいただいたご寄付によって支援することができました。



© WFP/Photolibrary

2024年における国連WFP協会から
国連WFPへの送金額

9億2,391万403円
(うちパレスチナへ2億4,081万8,470円)

[パレスチナでは何が起きている？]

- ガザ地区の人口の91%が危機的レベルの食料不安に直面
- ガザ地区では、治安の悪化や略奪により、当初予定していた配給量の6割にとどまった
- 燃料不足や小麦粉の価格高騰などにより、国連WFPが支援する18軒のパン屋は断続的に閉店。生産量はわずか数%に

(2024年時点)

[国連WFPの支援内容]

- 食料ボックス、栄養補助食品、小麦粉や調理するための食材などを救う食料を届けた
- 市場と経済活動の復興と、人びとに選択の自由と尊厳を与えるための現金支援を実施
- 迅速に支援を届けるため、瓦礫の撤去や道路の修復を実施



© WFP

ヌール・ハマッドさん
国連WFPパレスチナ事務所
コミュニケーション・オフィサー (2024年時点)

戦争が始まって1カ月後にガザ中部の自宅を離れ、現在は小さなアパートで兄弟と暮らしています。深刻な水不足に苦しんでおり、電気も通っていませんが、屋根の下で暮らせるだけでも感謝しています。

ガザ地区での活動は一歩前進したとしても、軍事行動によって三歩も五歩も後退してしまうことはめずらしくありません。スタッフとして働いていると虚しく感じるときもありますが、その暗い気持ちも人びとが国連WFPの食料を受け取っているのを見ると晴れていきます。

未来を救う。 CHANGING LIVES

国連WFPは緊急の「人道支援」だけでなく、持続的な「開発支援／自立支援」も担っています。皆様からのご寄付は、人びとの自立につながる中長期的な支援のために大切に活用させていただいております。

学校給食支援

学校給食支援は子どもの栄養状態を改善し、勉強への集中力を高めます。また、学校給食があることで家族が子どもを学校に通わせる動機となり、就学率の向上にもつながります。

エクアドルにおける活動

政府と協力して給食支援を開始 地元食材で子どもに栄養を届ける

エクアドル北東部のカルチ県では、多くの子どもたちが栄養問題に直面。朝食をとらずに登校する子どもも多く、同県の子どもの慢性栄養不良率は23%に達しています。

国連WFPの調査では、エクアドルで栄養価の高い食品を入手できる世帯は全世帯の半数にとどまります。子どもたちは栄養不良によって病気で学校を欠席することが多く、この状況が学習能力向上や健全な成長を妨げていると考えられます。

この課題に対応するため、国連WFPはエクアドル政府と協力し、農村部で地元地消の学校給食支援を開始しました。地元農家からの新鮮な食材で子どもたちに栄養価の高い食事を提供するとともに、農家に安定した収入源をもたらしています。こうした取り組みを通じて、子どもの健康や学業成績の改善など、短期間でも一定の成果が表れています。

これらの活動の一部は、日本の皆様からいただいたご寄付によって支援することができました。



© WFP/Gonzalo Ruiz

2024年における国連WFP協会から
国連WFPへの送金額

4億1,803万2,336円
(うちエクアドルへ4,577万9,382円)

[エクアドルでは何が起きている？]

- エクアドル全土で子どもの栄養状態が深刻な課題に
- 5～9歳の子どもの21%、10～14歳の子どもの40%が朝食をとらずに登校
- 栄養価の高い食品を入手できる世帯は50%にとどまる
- 栄養不良が原因で病気や痛みによる学校欠席が増加し、学習能力や健全な成長に悪影響を及ぼしている



国連WFPの支援内容

- エクアドル政府と協力して農村部を対象とした地産地消の学校給食支援を実施
- 幼児期から初等教育段階の児童を中心に支援を提供
- 地元の小規模農家から食材を調達することで、子どもの栄養改善と農家の経済支援を同時に実現



© WFP/Gonzalo Ruiz

現地からの声

マーサ・ソラノさん

私が勤めている中学校では、多くの生徒が空腹で登校してきます。両親が仕事で朝早く家を出てしまい、夜遅くに帰ってくるまで食事をとれない子どもも少なくありません。学校で国連WFPの給食支援が始まり、子どもたちの様子が明らかに変わってきました。毎日栄養バランスのとれた温かい食事を食べられるようになったことで、病気がちだった子が今では元気になり、成績も向上しているのです。

今後も保護者や教師、地元の小規模農家らと力を合わせて、子どもたちのために取り組んでいきたいです。

未来を救う。

CHANGING LIVES

母子栄養支援

胎児から2歳に成長するまでに十分な栄養を摂れないと、身体や脳の発達が遅れ、その影響は生涯にわたる恐れもあります。国連WFPは妊娠婦と乳幼児の栄養支援を強化しています。

モザンビークにおける活動

紛争の影響により増える栄養不良 健診と補助食品で母子の健康を守る

モザンビーク北部では近年、紛争と度重なる避難に加えて、気候変動や経済的困難が複合的に影響し、深刻な食料不安が拡大しています。モザンビーク全土では推定280万人が危機レベル以上の食料不安に直面する中、その約86万人以上がカーボデルガド州に集中しています。

紛争の影響を受けた地域では、多くの母子が栄養不良の危機に瀕し、一日中食事ができない家族も少なくありません。収入源を失い、小さな畠からの収穫だけでは十分な食料確保が難しい状況が続く中、親族の支援に頼らざるを得ない家庭も多く、特に父親不在の母子家庭ではこうした困難がより深刻な様相を呈しています。

国連WFPは栄養不良の子どもたちに栄養補助食品を提供し、健康診断を定期的に実施しています。これらの活動の一部は、日本の皆様からいただいたご寄付によって支援することができました。

※2023年にお寄せいただいたご寄付の活用事例を掲載しています。



© WFP/Alfredo Zuniga



2024年における国連WFP協会から
国連WFPへの送金額

9,092万3,014円

モザンビークでは何が起きている？

- 平ばつや洪水の頻発により食料生産が不安定に
- 全国で推定280万人が危機レベル以上の食料不安に直面。多くの人が、食料支援に依存せざるを得ない状況に
- 5歳未満の子どもの約半数が慢性的な栄養不良に苦しむ

国連WFPの支援内容

- 栄養不良の子どもたちへの栄養補助食品の提供と予防のための定期的な健康診断を実施
- 医療機器の提供と医療専門家に技術提供を実施
- 移動クリニックが地方に出向き母子への支援を実施



© WFP/Alfredo Zuniga

現地からの声

アナスティナさん

シングルマザーとして4児を育てている私には家も収入もなく、時には子どもたちが一日中何も食べられないほど、苦しい生活を送っています。

このような状況の中で、8ヶ月の息子が栄養不良と診断され、現在、国連WFPの支援を受けています。支給された栄養補助食品によって状況は改善しつつあり、息子の体重が増えているのを見て、心から嬉しく感じています。

子どもたちの将来を考えると毎日不安は尽きませんが、それでも支援のおかげでとても助かっています。

自立支援

職業訓練やインフラ整備などの対価として食料などを支給するとともに、中長期的には住民自身が災害に強い地域づくりや食料不足の解消に取り組めるよう、後押しをしています。

フィリピンにおける活動

自然災害による食料不安に対応しつつ 地域の持続可能な資産構築を促進

フィリピンでは、台風や洪水などの自然災害が頻発。農村部には脆弱な環境で生活する人が多く、災害によって農地や生計手段が失われ、食料不安が深刻化しています。

特に紛争の影響が大きいパンサモロ・ムスリム・ミンダナオ自治区(BARMM)は厳しい状況にあり、国連WFPは「食料支援による資産創出(Food Assistance for Assets: FFA)」を通じて、コミュニティの支援を取り組んでいます。具体的には、地域の食料不安に対処しながら、紛争の影響を受けた住民や武装解除された元戦闘員らが持続可能な生計活動を実施できるよう、共同野菜園や果樹の栽培を促進。また、土壤浸食や洪水被害の軽減を図るべく、植樹や再植林活動にも取り組んでいます。

2024年4月には国連WFP協会を通じた日本の皆様からのご寄付によって、野菜の種子や果樹の苗木などが配布され、5万人を支援することができました。



© CFSI/April Castanares



フィリピンでは何が起きている？

- 2024年、25日間で6回の記録的な台風に見舞われるなど自然災害が頻発
- 自然災害への対応能力が低いことから2年連続で世界で最も災害リスクが高い国となっている
- 繰り返される自然災害によって農地や生計手段が失われ、多くの住民が食料不安に直面

国連WFPの支援内容

- 「食料支援による資産創出(FFA)」プログラムを実施
- 植樹や再植林活動を通じて土壤浸食、地滑り、洪水などの被害緩和にも取り組む
- 国連WFP協会を通じた寄付により、5万人(1万世帯)を支援
- 331ヘクタールの土地をカバーする10万4,000本の果樹の苗木と、154ヘクタールの農地をカバーする11種類の野菜の種子を提供



© CFSI/Alfredo Zuniga

現地からの声

ペルリタ・ウソップさん

私がリーダーを務める先住民テドウライのコミュニティでは、多くのメンバーが農業で生計を立てていますが、乾季になると収入がほとんどなくなるため、家族のために十分な食料を確保することが困難になります。

そうした環境の中で導入された「FFAプログラム」は、私の家族だけでなく、コミュニティ全体を助けるという意味でもとてもありがたい取り組みであり、私たちは追加で生計を立てるための手段として、野菜を植えることを決めました。今はより良い生活とより良い生計手段を得るために、私たちの菜園が繁栄することを日々祈っています。

福岡ソフトバンクホークス 柳田悠岐選手に感謝状を贈呈

2024年3月19日(火)

柳田選手は自身の本塁打(ホームラン)が途上国の子どもたちの学校給食支援につながる成績運動型寄付に2019年から取り組んでおり、2023年のシーズンは23本の本塁打で345万円のご寄付をいただきました。この5年間の合計寄付額は1,800万円、学校給食60万人分の寄付となります。感謝状贈呈式では、前年2023年の寄付および過去5年間の貢献に対しての謝意を伝えました。柳田選手は「少しでも力になればと思って取り組んでいますが、まだまだこれからも続けるために野球をしっかり頑張っていこうと思っています」と想いを語りました。

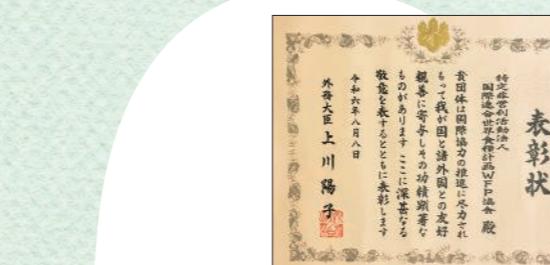


国連WFP協会アンバサダーに女優の広瀬アリスさんが就任

2024年7月10日(水)

女優の広瀬アリスさんを国連WFP協会アンバサダーに任命し、7月10日の就任記者発表会にて就任証を贈呈したほか、広瀬さんより就任の想いをお話しいただきました。

広瀬さんは「普段役者をやっているので私を知ってくれくださっている方々に、SNSなどを通じて国連WFP協会について知ってもらうきっかけを、まずはつくりたいと思っています」と就任の意気込みを語りました。また、寄付に参加したことがない方々や、若い世代にもぜひ気軽に参加してほしいという気持ちを込めて、広瀬さんと一緒に途上国の子どもたちの学校給食を支援していく「アリス×JAWFPプロジェクト」の内容も発表しました。



「外務大臣表彰」を受賞

2024年8月8日(木)

国連WFP協会は、日本国内で個人や企業が国連WFPの活動に参加・寄付しやすい仕組みを促進するとともに、国連WFPの事業やSDGsの認知拡大に貢献してきました。こうした長年にわたる日本の国際協力推進への寄与が評価され、「外務大臣表彰」を受賞しました。国連WFP協会会长の安藤は「この度の表彰は、国連WFP協会に心を寄せ、ご協力くださった個人・企業・団体すべての支援者さまのお気持ちの賜物であると思っております」と感謝の意を表明しました。

新たな寄付手段としてPayPayでのキャッシュレス寄付開始

2024年9月6日(金)

オンライン上の寄付の支払い方法として、PayPay株式会社が提供するキャッシュレス寄付サービス「PayPay」を導入しました。「キャッシュレスで手軽に」という時代の流れと、厳しい状況が続いている世界の飢餓状況を鑑み、今回の導入を決定。新たな寄付手段としてキャッシュレスを活用し、支援の輪をさらに広く呼び掛けを行います。



不動産による遺贈寄付の受け入れを開始

これまで不動産の遺贈寄付は、遺言執行者による換価(売却)後にご寄付いただきましたが、

2024年より、一定の条件のもとで不動産の現物による寄付の受け入れを開始しました。



© WFP/Sayed Asif Mahmud



講演やワークショップを開催

教育機関などに向けた講演やワークショップを年間54回、延べ2,659人に向け実施しました。飢餓問題を知ることは支援への大切な一歩です。講演では世界の飢餓の状況、国連WFPの支援活動について、そして私たちに何ができるのかと一緒に考えます。講演を機に寄付活動やチャリティグッズの販売、文化祭で国連WFPを紹介するブース出展などのアクションにつながることもあります。また、講師として国連WFP協会の登録ボランティアも活躍しています。



外部イベントにブース出展

他団体主催のイベントにブースを出展し、パネル展示やチャリティグッズの販売などを行い、来場者に国連WFPの活動を紹介しました。

- FABEX東京2024 2024年4月10日(水)～12日(金)
主催: 日本食糧新聞社
- 日清オイリオ横浜磯子春まつり 2024年4月20日(土)～21日(日)
主催: 日清オイリオグループ株式会社
- グローバルフェスタJAPAN2024 2024年9月28日(土)～29日(日)
主催: グローバルフェスタJAPAN2024実行委員会
共催: 外務省、独立行政法人国際協力機構(JICA)、
特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC)
- ハウスファミリーウォーク神宮大会 2024年11月17日(日)
主催: 一般社団法人日本ウォーキング協会 協賛: ハウス食品グループ
- ワールド・コラボ・フェスタ 2024 2024年10月26日(土)～27日(日)
主催: 公益財団法人愛知県国際交流協会(AIA)、独立行政法人国際協力機構中部センター(JICA中部)、
なごや国際交流団体協議会(NIA)



グローバルフェスタJAPAN2024

国連WFP協会の取り組み

WFPウォーク・ザ・ワールドを3会場で開催

- 横浜会場 2024年5月12日(日)
- 大阪会場 2024年5月19日(日)
- 名古屋会場 2024年6月2日(日)

「WFPウォーク・ザ・ワールド」は、歩くことで途上国の子どもたちの支援につながるチャリティーウォークです。参加費の一部が国連WFPの学校給食支援に役立てられ、子どもたちに栄養と希望を届けます。横浜、大阪、名古屋の3会場で実施し、名所や、自然、街を楽しむコースを歩きました。



参加者7,479人となり、
およそ22万5,693人の
子どもたちに
給食を届けることが
できました

参加者の声

新聞で知り、初めて参加しました。私自身も学校給食の仕事に携わる者として、世界の子どもたちの力になれたことを嬉しく思います。多くの方にこのイベントを知ってほしいです。涼しい横浜を巡れて楽しい一日でした。

●50代 横浜会場参加者

自分でできることで誰かの役に立てるのは、とても素敵なことだと思います。同じ想いを持つ仲間と歩く時間は楽しく、国連WFPの支援について知ることもできました。バラ園では綺麗な花を見ながら、平和を願いました。

●50代 大阪会場参加者



[ゲスト]
横浜会場 高橋由伸さん(元読売ジャイアンツ)
大阪会場 糸井嘉男さん(阪神タイガーススペシャルアンバサダー)
名古屋会場 谷繁元信さん(元・中日ドラゴンズ監督/プロ野球解説者)

[特別協賛]
横浜会場 dsm-firmenich
日清食品ホールディングス株式会社
株式会社ファミリーマート
大阪会場 日清食品ホールディングス株式会社
株式会社ファミリーマート
名古屋会場 カゴメ株式会社
トヨタ自動車株式会社
日清食品ホールディングス株式会社
株式会社ファミリーマート



[スペシャルサポーター]
日清食品ホールディングス株式会社
明治ホールディングス株式会社
[特別協賛]
ハウス食品グループ本社株式会社
[キャンペーンアンバサダー]
杏/近藤しづか/白ごはん.com 富田ただすけ/高橋メアリージュン/はっしー(橋本陽)/はらべこグリズリー/広瀬アリス/ふなっしー/マリウス葉/むにぐるめ/柳田悠岐/山本ゆり/リュウジ(五十音順 敬称略)

応募総数は
2万2,674通となり、
およそ4万5,348人の
子どもたちに
給食を届けることが
できました



参加者の声

今回のエッセイがきっかけで、海外のスラム街の人たちへのボランティアに行くことにしました。これまで情報でしか現状を知りませんでしたが、現地での活動を通して何かを学んでいきたいと思いました。

●20代 学生

WFPチャリティーエッセイコンテスト 「大切さを考えよう 私たちのごはん」

募集期間 2024年7月1日(月)~9月4日(水)

日々の「食べること」から途上国の飢餓問題を考えもらうことを目的に実施している本コンテスト。応募1作品につき給食2人分(60円)が寄付協力企業より国連WFPの学校給食支援に寄付されます。2024年は「大切さを考えよう 私たちのごはん」をテーマに、食べることの大切さを感じた瞬間や思い出など心に残るエピソードを募集しました。

[特別協賛]
日清食品ホールディングス株式会社
株式会社三井UFJ銀行

[寄付協力]
日清食品ホールディングス株式会社
三菱商事株式会社

特別審査員



ふなっしーさん
©ふなっしー



広瀬アリスさん
©JAWFP



竹下景子さん
撮影: 篠山紀信

国連WFPの取り組みや食品ロスの実態など、生徒たちに学ぶ機会を与えることができました。こうした学びを継続していくことで、自分たちの作品が給食支援につながったと実感できるようになるのだと思います。

●40代 中学校教員



#ごちそうさまチャレンジを開催

2024年12月5日(木)~2025年2月16日(日)

SNSで気軽に寄付に参加できる本キャンペーンでは、食品ロス削減にまつわる内容(ごちそうさまポーズや、食材を使い切るアイデアなど)に「#ごちそうさまチャレンジ」を付けて投稿すると、1投稿につき給食5人分(150円)が寄付協力企業より国連WFPの学校給食支援に寄付されます。今回はクリスマスや節分など「食」を楽しむイベント時期に合わせて開催し、食料問題を考えもらうきっかけになりました。



学生団体と本キャンペーンを
広める企画会議を実施



山本ゆりさんの投稿



#ごちそうさまチャレンジコンテスト受賞投稿

寄付対象アクション
総数は
15万5,404件となり、
およそ21万8,716人の
子どもたちに
給食を届けることが
できました

企業・団体からのご支援について



さまざまな方法を通じて、
ご支援いただいている。

ご寄付

1 商品・サービスを通じて

レッドカップキャンペーン

売り上げに応じて一定額を学校給食支援にご寄付
いただけます。[p.17参照]



2 企業・団体のご支援として

随意のご支援

ご希望のタイミングでのご寄付
「緊急支援」「学校給食支援」「母子栄養支援」「使途指定なし」から選択可能

継続的なご支援

国連WFP協会コーポレートプログラム

3年間で一定額以上のご寄付をいただくことで、継続的に国連WFPの活動をご支援 [p.19参照]

募金箱やネット決済

店頭での募金箱の設置や寄付募集サイトの運営

株式会社セブン&アイ・フードシステムズ／株式会社ゼンショーホールディングス／
日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社／株式会社ファミリーマート／
立正佼成会 佐倉教会／株式会社ローソン など

ポイントやカタログ

クレジットカードやポイントカードのポイントを用いたご寄付

カタログギフトで商品の代わりに寄付の選択肢を設ける方法

株式会社エポスカード／株式会社セブン&アイ・ホールディングス／株式会社高島屋／
三菱UFJニコス株式会社／リンベル株式会社 など

株主優待制度

優待品に代わって「国連WFP協会への寄付」を選択肢に設ける方法

株式会社クラレ／株式会社 サカタのタネ／新晃工業株式会社／
日清食品ホールディングス株式会社／日本証券業協会／日本ハム株式会社 など

社内イベント開催時

給与天引き、社内募金、バザー開催、社員食堂の食数からのご寄付

株式会社オリエンタルランド／株式会社中村屋／株式会社日本アクセス／
三井化学ちびっこワンコイン／株式会社三菱UFJ銀行 など

「WFPウォーク・ザ・ワールド」の参加や自主開催の実施

社員の社会貢献活動として、また健康経営施策として、参加費の一部が学校給食支援になる
「WFPウォーク・ザ・ワールド」(p.13)への参加、または自主開催の実施

啓発・
チャリティ
イベントへの
ご支援

評議員としての
ご支援

チャリティ
グッズの販売

「WFPウォーク・ザ・ワールド」(p.13)、「WFPチャリティーエッセイコンテスト」(p.14)、「#ごちそうさまチャレンジ」(p.14)の運営は協賛企業・団体によるご支援で実施しています。また、「WFPチャリティーエッセイコンテスト」、「#ごちそうさまチャレンジ」を通じた学校給食支援へのご寄付は、寄付協力企業・団体によるご支援で実現しています。

評議員は、評議会において、1社(者)1票の議決権を有する当協会の正会員(NPO法上の「社員」)です。年会費20万円は国連WFPへの支援活動を行う当協会の運営経費に充當されます。(2024年、401社・団体が加入)

最新の評議員企業・
団体一覧
<https://ja.wfp.org/corporate/councillist>



学校給食を入れる容器をモチーフとした「レッドカップ」を社員向けやお客様向けイベントで販売できます。1つ500円(税込)で、売り上げの一部が学校給食支援に寄付され、子どもたちに給食を届けることができます。



企業のサステナビリティ推進や社会貢献活動、社員啓発をお手伝いしています。
お気軽にご相談ください。

- 国連WFP協会による企業向けセミナー&交流会の開催
(登壇企業によるサステナビリティに関する取り組み事例紹介や参加者間で情報交換会を実施)
- 飢餓問題や国連WFPの活動を紹介する講演会
- 法人(企業・団体)主催イベントへの国連WFP協会ブースの出展
- 冊子やチラシの提供
- パネルや募金箱の貸し出し



企業向けセミナー
ご登壇企業様：株式会社モリサワ



パネルや募金箱の貸し出し

お問い合わせはこちらから
kigyo@jawfp.org

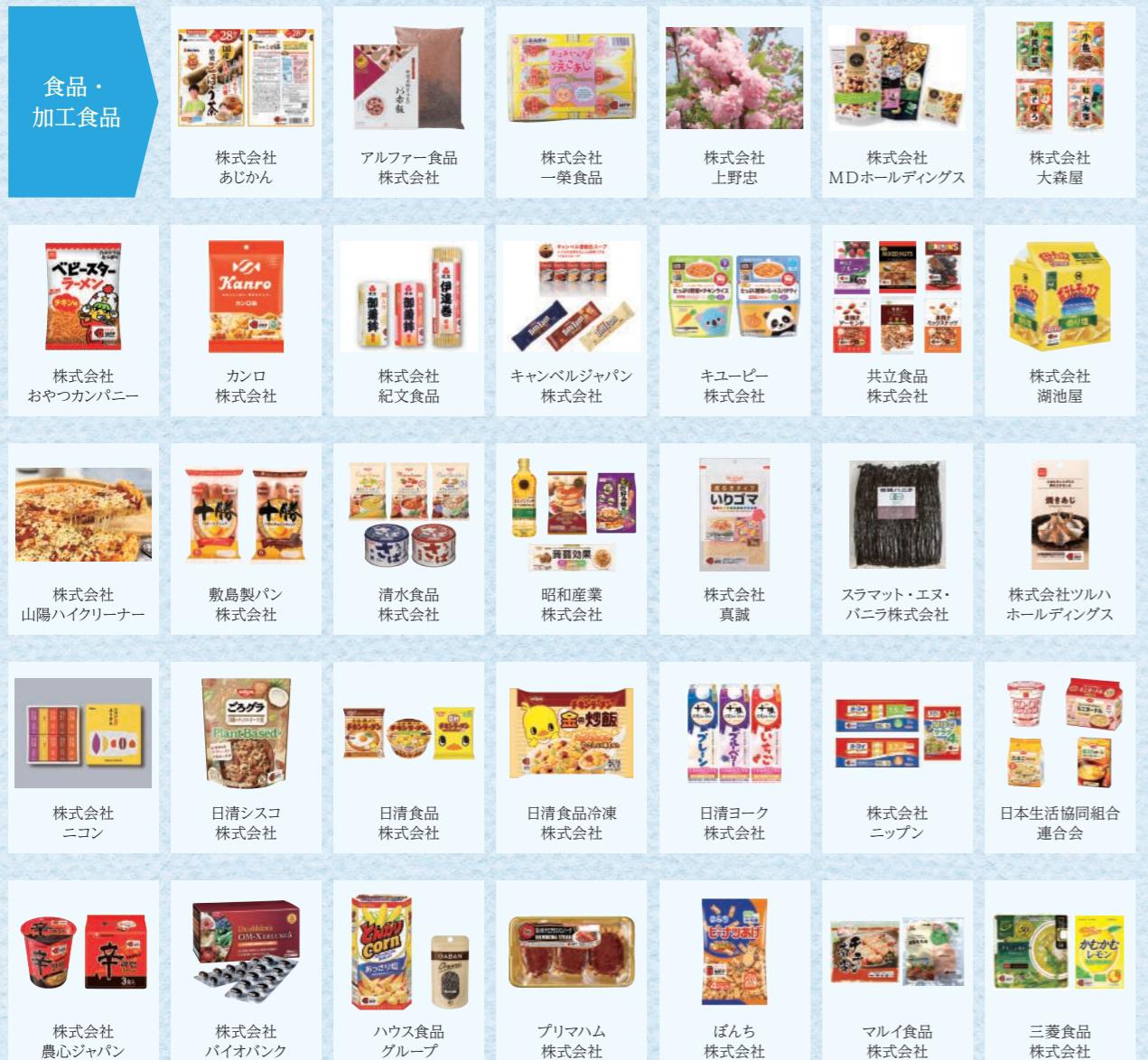
2~5は、寄付の使途を「緊急支援」「学校給食支援」「母子栄養支援」「使途指定なし」から選択可能であり、企業・団体の方針に沿ってご寄付いただけます。「使途指定なし」を選択した場合は、国連WFPが最も資金を必要とする支援活動に活用させていただきます。

レッドカップキャンペーン 毎日のお買い物で学校給食を支援



国連WFPが給食を入れる容器として使っていた赤いカップを目印に、「レッドカップキャンペーン」に賛同する企業・団体からキャンペーンマークのついた商品が発売されています(2024年、70社・団体が参加)。対象商品を購入すると、企業・団体から国連WFP協会を通じて売り上げの一部が寄付されます。2011年から2024年末までに約3,215万人の子どもたちに学校給食を届けました。

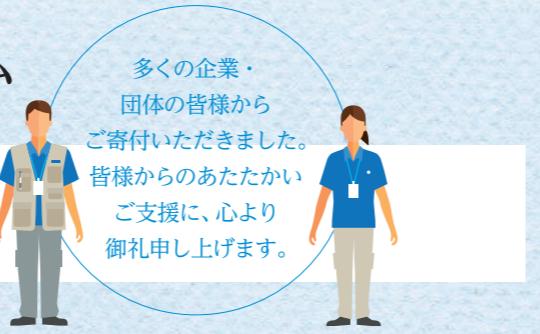
参加企業・団体一覧 [2025年6月時点]



国連WFP協会コーポレートプログラム

3年間で一定額以上のご寄付をいただくことで、継続的に国連WFPの活動をご支援いただけます。

参加企業・団体一覧



2024年に100万円以上のご寄付をいただいた企業・団体の皆様

※お客様や社員からの募金やポイント寄付を含みます。

- アサヒ飲料株式会社
- 旭食品株式会社
- 株式会社あじかん
- 味の素株式会社
- アドヴェンチャーホールディングス株式会社
- 株式会社アルトナ
- アルファー食品株式会社
- 株式会社一榮食品
- 伊藤忠商事株式会社
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 伊藤忠プラスチックス株式会社
- 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社
- 伊藤忠リテイルリンク株式会社
- 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
- 岩井機械工業株式会社
- 株式会社上野忠
- 株式会社ABC Cooking Studio
- 合同会社NIG
- 株式会社 MDホールディングス
- 株式会社エレテックコーポレーション
- 大阪よどがわ市民生活協同組合
- 株式会社大森屋
- 株式会社オフィス・カラーサイエンス
- 株式会社おやつカンパニー
- カゴメ株式会社
- 株式会社カネカ
- カルビー株式会社
- 株式会社河本総合防災
- 関東総業株式会社
- カンロ株式会社
- キッコーマン株式会社
- 株式会社紀文食品
- キャンベルジャパン株式会社
- 株式会社Q's fix
- キューピー株式会社
- 共立食品株式会社
- 株式会社クラレ
- 株式会社クレハ
- 株式会社湖池屋
- コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
- こと京都株式会社
- 株式会社 サカタのタネ
- 株式会社サガミホールディングス
- サミット株式会社
- 三共生興株式会社
- 株式会社サンピア
- 株式会社山陽ハイクリーナー
- 株式会社GF
- 株式会社シーライン東京
- SHIONOGI社会貢献支援会
- 清水食品株式会社
- ジャンボパーキング株式会社
- 株式会社商船三井
- 昭和産業株式会社
- 医療法人SIRIUS いしが在宅ケアクリニック
- 新晃工業株式会社
- 株式会社真誠
- 真如苑
- スマット・エヌ・パニラ株式会社
- 生活協同組合おおさかパルコープ
- 生活協同組合ユーコープ
- 宗教法人「生長の家」
- 宗教法人「生長の家」 埼玉県教化部
- 一般財団法人世界聖典普及協会
- 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
- 株式会社セブン&アイ・フードシステムズ
- 全国旭友会
- 株式会社ゼンショーホールディングス
- 泉南乳業株式会社
- 創価学会
- ソニー生命保険株式会社
- 大和証券株式会社
- 株式会社高島屋
- 株式会社タカミヤ
- 株式会社タナカバナナ
- たにもと建設株式会社
- 中央フードサービス株式会社
- 中部日本放送株式会社
- 株式会社TK
- 株式会社dinos
- 特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International
- テーブルマーク株式会社
- 東亜道路工業株式会社
- TOHOシネマズ株式会社
- トップガル株式会社
- 株式会社 内藤建築事務所
- ナガセヴィータ株式会社
- 中谷商事株式会社 長野グランドシネマズ
- 中山福株式会社
- 医療法人なごみ
- 株式会社ニコン
- 株式会社日能研
- 株式会社ニチリン
- 株式会社ニチレイ
- 日清シスコ株式会社
- 日清食品株式会社
- 日清食品ホールディングス株式会社
- 日清食品冷凍株式会社
- 株式会社日清製粉グループ本社
- 日清ヨーク株式会社
- 株式会社ニッスイ
- 株式会社ニッパン
- 日本ハム株式会社
- 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社
- 日本証券業協会
- 株式会社日本食糧新聞社
- 日本生活協同組合連合会
- 日本農産工業株式会社
- 日本母親大会連絡会
- 日本労働組合総連合会
- 株式会社農心ジャパン
- ハウス食品グループ
- 株式会社PILLAR
- 株式会社ファイネット
- 株式会社ファミリーマート
- ファンケルクラシック基金
- 株式会社フィルム
- 株式会社フォスター・プラス
- ブリマハム株式会社
- 株式会社ブレインファーム
- 株式会社ブレーリードッグ
- 一般財団法人ベターホーム協会
- 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団
- マルイ食品株式会社
- 丸真株式会社
- マルハニチロ株式会社
- 株式会社マルハニチロ九州
- マルマン株式会社
- 三井住友カード株式会社
- 三菱商事株式会社
- 三菱食品株式会社
- 株式会社三菱UFJ銀行
- 株式会社三菱UFJ銀行社会貢献基金
- 三菱UFJニコス株式会社
- 三本珈琲株式会社
- 宗教法人無二亦寺
- 株式会社村内ファニチャーアクセス
- 株式会社明光ネットワークジャパン
- 明治ホールディングス株式会社
- メディアホールディングス株式会社
- 立正佼成会 一食平和基金
- 立正佼成会 佐倉教会
- 株式会社リロバケーションズ
- リンベル株式会社
- 株式会社ローソン
- 株式会社ロッテ
- ロンドフードサービス株式会社
- 株式会社ワコウ

企業の声

大和証券株式会社 ウェルス・ビジネス開発部長 陳様

弊社は証券会社として、金融を通じた社会課題解決に取り組んでいます。「寄附サービス付投資一任サービス」を介して国連WFP協会への支援を行うことで、お客様と共に飢餓問題解決への一助となれることを嬉しく思います。金融機関の立場から社会的課題の解決をサポートすることは私たちの使命であり、社内でも国連WFPの活動への理解を深める取り組みを行っています。投資による経済的リターンだけでなく、国連WFP協会を通じて社会的リターンも重視する価値観を広めることで、より良い社会づくりに向けて継続的な支援を行ってまいります。



活動計算書

2024年1月1日から2024年12月31日まで

科目	金額 (単位:円)
I 経常収益	
1 受取会費	80,826,000
2 事業収益	44,875,296
3 受取寄付金	2,598,203,373
4 その他収益	5,217,578
経常収益計	2,729,122,247
II 経常費用	
1 事業費 (1) 人件費	95,980,262
(2) その他経費	2,615,267,163
事業費計	2,711,247,425
2 管理費 (1) 人件費	17,926,903
(2) その他経費	23,114,555
管理費計	41,041,458
経常費用計	2,752,288,883
当期経常増減額	-23,166,636
税引前当期正味財産増減額	-23,166,636
法人税、住民税および事業税	74,500
当期正味財産増減額	-23,241,136
前期繰越正味財産額	535,877,858
次期繰越正味財産額	512,636,722

※「II 経常費用 1 事業費 (2) その他経費」に
寄付金支出19億4,591万7,341円が含まれます。

活動における法令や指導などの遵守

国連WFP協会では飢餓問題の最新状況のご案内とご寄付のお願いを目的に、関連各所の指導・許可を受け「駅前や商業施設などの街頭キャンペーン」を、また個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）を遵守し「ダイレクトメール（DM）の送付」を実施しています。より多くの方に支援の輪を広げるために、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

情報公開と監査報告

国連WFP協会は、法人の監事が内部監査を行うとともに、監査法人に依頼して外部監査を受けています。事業報告書や財務諸表および財産目録は、所轄庁である横浜市に提出され、またWebサイトにも掲載されています。



貸借対照表

2024年12月31日現在

科目	金額 (単位:円)
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	966,992,211
未収金	164,632,336
商品	1,790,560
貯蔵品	1,474,200
前払金	951,557
流動資産合計	1,135,840,864
2 固定資産 (1) 有形固定資産	
什器備品	825,461
建物付属設備	6,180,718
有形固定資産合計	7,006,179
(2) 無形固定資産	
ソフトウェア仮勘定	1,923,900
ソフトウェア	8,308,601
無形固定資産合計	10,232,501
(3) 投資その他の資産	
投資有価証券	57,899,500
差入保証金	931,000
投資その他の資産合計	58,830,500
固定資産合計	76,069,180
資産合計	1,211,910,044
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	694,282,215
未払法人税等	74,500
前受金	200,000
預り金	3,124,607
未払消費税等	1,592,000
流動負債合計	699,273,322
負債合計	699,273,322
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	535,877,858
当期正味財産増減額	-23,241,136
正味財産合計	512,636,722
負債および正味財産合計	1,211,910,044

役員一覧

敬称略 五十音順 ※2025年6月9日現在

会長	安藤宏基	日清食品ホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO
理事	青木 創	特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会 事務局長
理事	忍足謙朗	WFP国連世界食糧計画 元アジア地域局長
理事	折茂美保	ボストンコンサルティンググループ合同会社 マネージング・ディレクター&パートナー
理事	小谷真生子	経済キャスター
理事	小林文彦	伊藤忠商事株式会社 代表取締役 副社長執行役員 CAO
理事	近藤祥太	三菱商事株式会社 常務執行役員 S.L.C.グループCEO
理事	今野正義	株式会社日本食糧新聞社 代表取締役会長 CEO
理事	津村康博	WFP国連世界食糧計画 日本事務所 代表
理事	橋本 徹	Y-BRIDGE 代表 元横浜市国際局長
理事	本田 亮	クリエイティブディレクター／環境マンガ家
監事	樋谷隆夫	公認会計士・税理士
監事	樽本 哲	インテアス法律事務所 代表弁護士
顧問	生駒芳子	ファッション・ジャーナリスト／一般社団法人日本エシカル推進協議会 会長
顧問	石井 直	株式会社電通 相談役
顧問	石井幹子	株式会社石井幹子デザイン事務所 代表取締役、照明デザイナー
顧問	伊藤 仁	日本商工会議所 専務理事
顧問	上野 孝	横浜商工会議所 会頭
顧問	王 理恵	野菜ソムリエ
顧問	大河原愛子	株式会社デルソーレ ファウンダー／シニアアドバイザー
顧問	加賀美由加里	株式会社KACOオフィス 代表取締役
顧問	加来正年	王子ホールディングス株式会社 代表取締役会長
顧問	京谷 裕	三菱食品株式会社 代表取締役社長
顧問	五味廣文	株式会社SBI新生銀行 取締役会長
顧問	三枝則生	三菱商事株式会社 常勤顧問（S.L.C.グループ）
顧問	高柳浩二	株式会社ファミリーマート 取締役会長
顧問	辰巳琢郎	俳優
顧問	田中稔三	キヤノン株式会社 代表取締役副社長CFO
顧問	野口聰一	宇宙飛行士
顧問	早川 茂	トヨタ自動車株式会社 代表取締役副会長
顧問	平田保雄	株式会社日本経済新聞社 参与・日本経済研究センター 参与
顧問	三浦豪太	プロスキー・冒険家
顧問	三國清三	株式会社ソシエテミクニ 代表取締役、オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ
顧問	三屋裕子	株式会社サイフア 顧問
顧問	宮本秀一	伊藤忠商事株式会社 執行役員 食料カンパニープレジデント
顧問	山下春幸	株式会社ウォーターマーク 代表取締役社長 最高技術責任者、HAL YAMASHITA 東京 エグゼクティブシェフ

国連WFPを応援する著名人

※2025年4月現在



杏さん

国連WFP親善大使
俳優
©Junko Tamaki (t.cube)



杏下景子さん

国連WFP協会アンバサダー
俳優
撮影：篠山紀信



三浦雄一郎さん

国連WFP協会アンバサダー
プロスキー・冒険家



広瀬アリスさん

国連WFP協会アンバサダー
女優
©JAWFP



柳田悠岐さん 福岡ソフトバンクホークス所属野球選手

柳田選手は自身の本塁打（ホームラン）が途上国の子どもたちの学校給食支援につながる成績運動型寄付に2019年から取り組まれています。2024年は計5本のホームランを打ち、2万5,000人分の給食につながりました。

年次報告書のWeb版、
バックナンバー、決算報
告の詳細はWebサイト
にてご覧いただけます。
<https://ja.wfp.org/jawfp-annual-report>



© WFP/Samantha Rutherford



© WFP/Michael Duff



© WFP/BCIHS/Sayed Rashed



© WFP/Gustavo Vera



SNSでも情報を配信しています。

 国連WFP協会

 @jawfp_official

 @jawfp_official

 jawfp.official



今後の年次報告書の内容をより充実させるため、アンケートを実施いたします。

左記の二次元コードからアンケートにお答えいただき、率直なご意見・ご要望・ご感想をお聞かせください。

※アンケートの回答は統計的に処理され、特定の個人が識別できる情報として公表されることはありません。

国連WFP協会

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜6F

TEL 0120-496-819 受付時間 9:00~18:00 (通話料無料・年始を除く年中無休)



<https://ja.wfp.org/>



発行:特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会